

平成29年度行政評価 施策評価シート (平成28年度実績)

施策名 文化財の保存と活用

施策コード 020301

1. 施策の担当	
主管課	教育部 教育総務課
関係課	生涯学習課

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第2章 歴史・文化を大切にし、ひとを豊かに育むまちづくり（教育・文化）	第3節 歴史・文化
	施策	文化財の保存と活用	

基本方針
史跡日根荘遺跡を含む指定文化財、埋蔵文化財等は、地域の歴史と文化を物語る貴重な財産であり、計画、方針の策定や様々な方策や連携を行い、豊かな地域づくり、ひとづくりに役立てる方策を進め、普及啓発をはじめ将来に向けて適切な保存と活用をめざします。

現況と課題
・史跡日根荘遺跡の適切な保存が可能となるように調整、指導、調査を行っています。
・史跡指定地を含む重要文化的景観の選定及び保存に向けての計画づくりが求められています。
・埋蔵文化財については、開発事業等により遺跡が保存できない場合、記録保存による発掘調査の実施に努め、その成果については、積極的に公開を図っていく必要があります。
・出土した文化財を適切に保管し、評価を行い、展示等の積極的な活用を図っています。
・適切な文化財の保存と管理を進めるためには、所有者及び管理者との連携が急務です。

施策目標
対象（誰を、何を、どこを）

市民
意図（どのような状態にしたいのか）
市民が泉佐野市固有の歴史遺産を知ること、郷土意識の向上を行う。また、地域の文化財を地域で守る体制や支援づくり、学校及び地域活性化につながる連携した施策づくり。

3. 市民ニーズ							
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
満足度（偏差値）	66.8						
重要度（偏差値）	45.0						

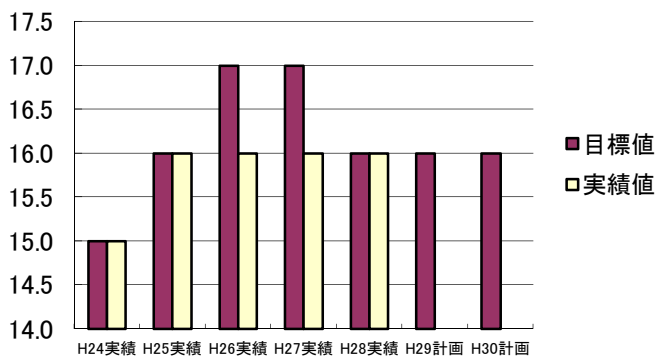
4. 施策にかかるコスト								
コストの内訳	人件費	単位	H27決算	H28決算				
	事業費	千円	16,721	20,532				
	フルコスト		5,123	4,863				
財源内訳	国庫支出金	千円	21,844	25,395				
	府支出金		1,110	1,072				
	市債		0	0				
	その他		0	0				
	一般財源1（＝フルコスト－特定財源）		41	204				
	一般財源2（＝直接事業費－特定財源）		20,693	24,119				
			3,972	3,587				

5. 施策の成果指標							
① 成果指標1		史跡日根荘遺跡の総指定箇所数					
項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画	H30計画
目標値	15.0	16.0	17.0	17.0	16.0	16.0	16.0
実績値	15.0	16.0	16.0	16.0	16.0		
達成度	100.0	100.0	94.12	94.12	100.0		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
市内日根野・土丸・大木地区に広がる本史跡については、平成14年の保存管理計画に基づき、順次追加指定をすることで史跡の内容充実をはかり、将来豊かな地域づくり、人づくりに役立てられるよう適正な保存管理と活用をめざします。		保存管理計画書で策定した追加指定候補地の計画による。現在、史跡保存管理計画書の策定中であり、単年度目標値を変更した。		16地点目の指定地として土丸・雨山城跡が追加指定された。			

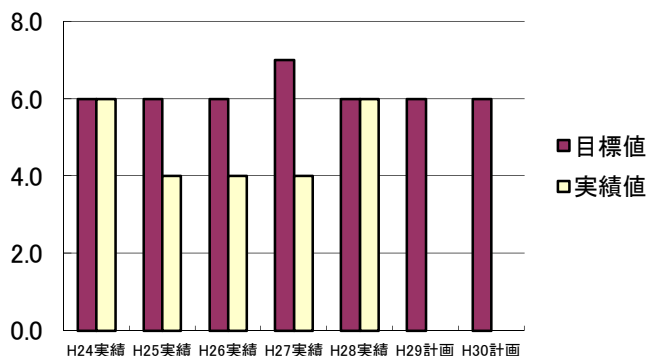
② 成果指標 2		文化財関連の説明会、体験など普及啓発行事の年間開催数（現地、長福寺跡、教育総務課分室展示室）					
項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画	H30計画
目標値	6.0	6.0	6.0	7.0	6.0	6.0	6.0
実績値	6.0	4.0	4.0	4.0	6.0		
達成度	100.0	66.67	66.67	57.14	100.0		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
文化財の出土品・記録資料の展示解説及び報告説明を様々な場所や環境で行うことにより、市民への調査成果を還元し、地域づくり、人づくりに役立てられるよう普及啓発を推進する。		現在、調査件数の増加と過去の成果分析などを考慮した設定回数。本庁1階ロビー展示を行わなくなったため、27年度目標値から目標値を1件減らした。		文化財調査の普及啓発の講演会（1回） 文化財調査成果の展示会（1回） 発掘現地説明会（1回） 講座講師派遣（1回） 古文書講座講師派遣（2回）			

③ 成果指標 3		文化財施設（旧向井家住宅）来館者数					
項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画	H30計画
目標値	2,381.0	4,045.0	4,200.0	4,500.0	3,600.0	3,800.0	3,800.0
実績値		4,045.0	3,994.0	3,246.0	2,867.0		
達成度		100.0	95.1	72.13	79.64		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
泉佐野市指定文化財の旧向井家住宅の公開と活用を推進する。		旧向井家住宅の公開活用実績値に基づく。 旧向井家住宅の開館日が週5日から週4日に変更されたため、それに応じて単年度目標値を変更した。		地域に愛される文化財として積極的な公開活用を推進していく。			

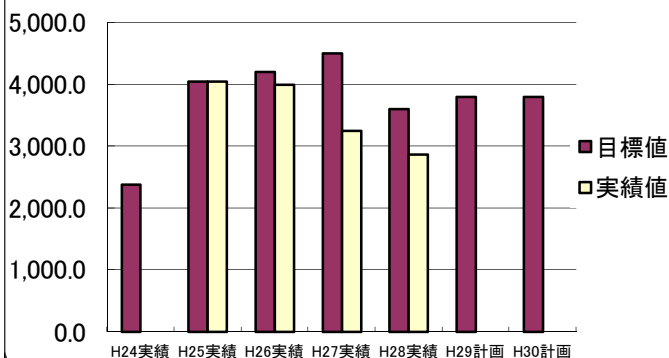
成果指標①



成果指標②



成果指標③



6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 3	景観を重視した荘園遺跡としては全国で初めての国史跡である。全国的にも非常に貴重な中世荘園故地であるということを周知するために継続した成果が必要である。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 3	文化財の所有者や地域の住民に対して文化財保存の意識を高めるとともに、地域社会に活かされる文化財となるよう広報や普及行事などを通じて継続的な施策を展開する。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	文化財保護法、府及び市文化財保護条例に基づく文化財の保存をベースとして、近年の戦国ブーム等による歴史的な興味や文化的景観や史跡をはじめとした地域の文化財を保存活用することで、地域の活性化につながる基礎づくりが必須である。
	合計点	(10点中) 9点	
	総合評価	A	施策の目的を維持できた。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)		B	旧向井家住宅の来館者数の増加に努めること。
三次評価 (理事者による評価)		B	旧向井家住宅の来館者数の増加に努めること。 施策をより有効に評価できる新たな指標の追加の検討が必要である。 旧新川家住宅に関する指標の追加を検討すること。

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			H28年度決算額			H29年度予算	一次評価
	予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01061100	史跡等保存事業				—	A
2	01061300	庁舎管理 (教育総務課分室) 事業	5,284	1,903	1,870	1,819	B
3	01061400	文化財保存事業	15,248	2,960	1,717	1,307	B
合計			20,532	4,863	3,587	3,126	